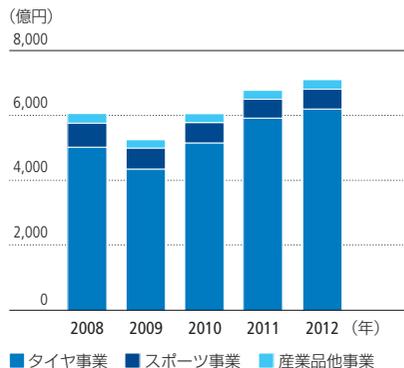


売上高

7,102億円

前期比

+4.9%



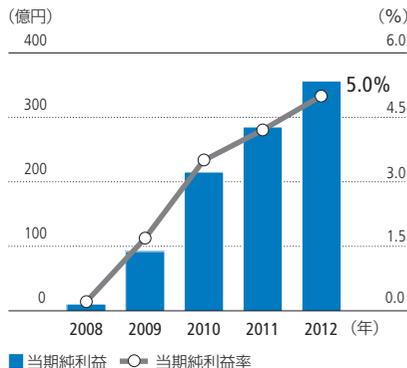
売上高は、主力のタイヤ事業において国内新車用・市販用および海外新車用タイヤの販売を伸ばしたことから、前期比4.9%増の7,102億円となりました。

当期純利益および当期純利益率

355億円

前期比

+24.9%



当期純利益は、営業利益の大幅な増加に加え、前期に計上した災害による損失が当期はなく、また為替差損益が改善したことなどにより、前期比24.9%増の355億円となりました。

営業利益および営業利益率

697億円

前期比

+29.3%



営業利益は、売上高の増加に加え、主力のタイヤ事業において原材料価格が下落に転じた一方、前期までに実施してきた販売価格改定の効果などにより、前期比29.3%増の697億円となりました。

ROE*1およびROA*2

ROE

16.0%

前期比

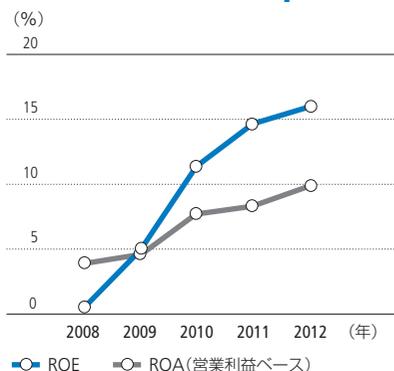
+1.3pt

ROA

9.9%

前期比

+1.6pt



ROEは当期純利益の増加により前期比1.3ポイント向上し16.0%となりました。ROAは営業利益の大幅な増加により1.6ポイント上昇し、9.9%となりました。

*1 ROE = 当期純利益 ÷ 期首・期末平均自己資本 × 100
*2 ROA = 営業利益 ÷ 期首・期末平均総資産 × 100

2012年1月

タイヤ

ブラジル工場の起工式を実施



2月

タイヤ

低燃費タイヤ「エナセーブPREMIUM(プレミアム)」を発売

3月

産業品

木造住宅用制震ダンパー「MIRAIE [ミライエ]」を発売

タイヤ

タイに農業機械用タイヤの新工場建設を決定

5月

スポーツ

インドネシアのゴルフボール新工場が完成

7月

タイヤ

ダンロップのアジア専用タイヤ「SP TOURING T1(エスピー ツーリング ティーワン)」の販売を開始



SP TOURING T1

タイヤ

中国・湖南工場の開所式を実施



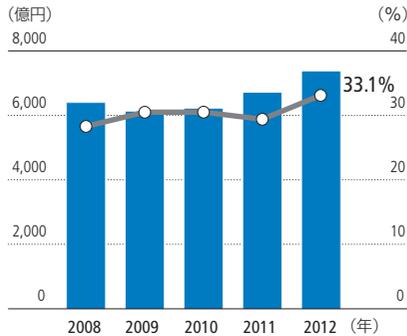
8月

タイヤ

スタッドレスタイヤ「WINTER MAXX(ウィンター マックス)」を発売

総資産および自己資本比率

7,375億円



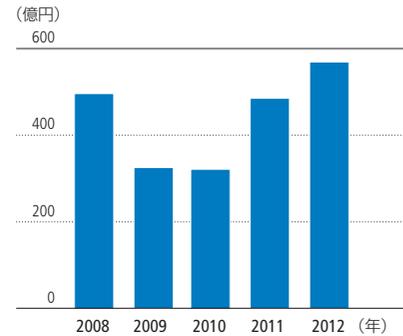
■ 総資産 ○ 自己資本比率

前期末比
+659億円

総資産は、受取手形・売掛金等の流動資産が増加したほか、設備投資により有形固定資産が増加したことから、前期末比659億円増の7,375億円となりました。

設備投資額

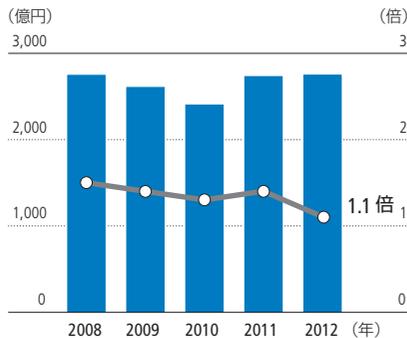
569億円

前期末比
+84億円

設備投資額は、前期比84億円増の569億円となりました。主な内容は、タイヤの生産能力増強のための投資です。

有利子負債残高およびデット・エクイティ・レシオ

2,759億円



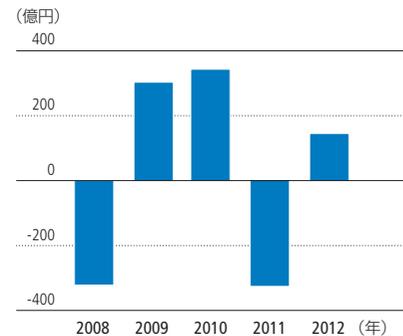
■ 有利子負債残高 ○ デット・エクイティ・レシオ

前期末比
+17億円

有利子負債残高は前期末比17億円増加しましたが、デット・エクイティ・レシオは自己資本の増加により1.1倍と0.3ポイント改善しました。

フリー・キャッシュ・フロー

145億円

前期末比
+471億円

フリー・キャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上や原材料単価の低下に伴うたな卸資産の減少などにより、145億円のプラスとなりました。

9月

企業

「自動車タイヤ国産第一号」が国立科学博物館の重要科学技術史資料として登録



タイヤ

トルコにタイヤ製造・販売の合併会社設立を決定

企業

長期ビジョン「VISION 2020」を発表



10月

タイヤ

次世代新工法「NEO-T01 (ネオ・ティーゼロワン)」を発表



11月

タイヤ

インドにタイヤ販売の合併会社「ファルケンタイヤインド」を設立